

## 地域医療支援病院業務報告書

令和 5年 9月 19 日

愛知県知事殿

開設者 住 所 東京都港区高輪三丁目2番12号

氏 名 独立行政法人地域医療機能推進機構

理事長 山本 修一

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

## 1 病院の名称等

名 称	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院					
所 在 地	名古屋市南区三条1-1-10					
診 療 科 名	内科、血液・腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、※総合診療科、精神科(※精神心療科)、小児科、※小児循環器科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓内科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科(※耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、放射線科、救急科、麻酔科、病理診断科、※緩和支援治療科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、透析外科、消化器外科(※印は院内標榜科)					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					661	661

## 2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸器、各種生体情報モニター、補助循環装置 除細動機、輸液ポンプ他 病床数 8床
化 学 検 査 室	(主な設備) 汎用性化学、免疫分析装置
細 菌 検 査 室	(主な設備) 細菌同定感受性装置
病 理 検 査 室	(主な設備) 超迅速パラフィン包埋装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台
研 究 室	(主な設備) 超低温フリーザー
講 義 室	室数 5 収容定員 450 人
図 書 室	室数 1 蔵書数 1386 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 設備なし 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 53 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

## 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日

2 紹介率 %

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
11,782人	18,653人	63.1%

3 逆紹介率 %

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
16,542人	18,653人	88.6%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

共同利用の実績  
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※ 1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

共同利用医療機関 1,715 施設  
 申請者と直接関係のない医療機関数 1,715 施設  
 共同利用に係る病床の病床ごとの利用率 15.8% 別紙参照

2 共同利用の範囲等

※ 2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

共同利用に関する規程	(有) ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務員

※ 3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
別紙参照				

※ 4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
	別紙参照		常勤 専従 〔 非常勤 〔 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 ( ) 床
専用病床	名称 (救命救急センター ) 42 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救命救急センター	1437.4m <sup>2</sup>	(主な設備) 別紙参照	可
救急外来	498m <sup>2</sup>	(主な設備) 別紙参照	可
放射線部	1437.4m <sup>2</sup>	(主な設備) C T室3部屋、MR I室3室 血管撮影室1室、心臓カテーテル室2室	可
検査部	1029.2m <sup>2</sup>	(主な設備) 心電図、汎用性化学・免疫分 析装置、自動輸血検査装置	可
検査部	1029.2m <sup>2</sup>	(主な設備) 心電図、汎用性化学・免疫分 析装置、自動輸血検査装置	可
手術室	977m <sup>2</sup>	(主な設備) 別紙参照	可
ICU	245.4m <sup>2</sup>	(主な設備) 別紙参照	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	5,586人 ( 2,619人)
上記以外の救急患者の延べ数	9,368人 ( 1,248人)
合計	14,954人 ( 3,867人)

※ ( ) 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

0 回

6 備考

救急病院を定める省令 (昭和39年厚生省令第8号) に基づく救急病院の認定を受けている。

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号) に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知) に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容 別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	35 回
(2) (1) の合計研修者数	1,516 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無  有・無

(2) 研修委員会の有無  有・無

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
別紙参照				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
別紙参照	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医 師	副院長
管理担当者の 氏名、職種、役職等		事 務	医事課長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法	
<p>診療に関する諸記録                      病院日誌、各科診療日誌、処方せん、                      手術記録、看護記録、検査所見記録、                      エックス線写真、紹介状、退院した患                      者に係る入院期間中の診療経過の要約</p>	電子カルテ 病院関係 ・総務企画課 診療関係 ・看護部 ・薬剤部 ・算定病歴係	日付順 ・患者 I D 順	
病院の管理及び運 営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連 携・相談室	エクセル一覧表 日付順 患者 I D 利用項目
	救急医療の提供の実績	業績評価係	患者 I D 順
	地域の医療従事者の資質の向上を図る ための研修の実績	地域医療連 携・相談室	エクセル一覧表 日付順・研修名、参加数
	閲覧の実績	算定病歴係	患者 I D 順
	紹介患者に対する医療提供及び他の病 院又は診療所に対する患者紹介の実績 の数を明らかにする帳簿	地域医療連 携・相談室	エクセル一覧表 日付順 患者 I D ・ 氏名 紹介病院名等

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法  
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	副院長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		事務	医事課長		
閲覧場所	閲覧室 開放型病床（救命救急センター・18病棟・34病棟・35病棟）				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
	41件	0件	0件	0件	41件
閲覧手続の概要	登録医に個々のID・パスワードを作成し提示 個人情報保護に関する誓約書を取得 患者訪問時、閲覧室や訪問病棟の電子カルテを必要時閲覧 閲覧のみ可 誰が、何時、何を閲覧したか総務企画課で把握 登録医の費用負担は無				

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第63回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会

日時 2022年5月20日(金) 中京病院大会議室およびオンライン 出席者19名/委員26名

議題 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移

2) 病診連携(受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等)

3) 退院調整(調整件数・退院先状況)

III 「地域医療貢献をめざすJCHO中京病院の進化について」

第64回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会

日時 2022年8月19日(金) 中京病院大会議室 出席者20名/委員26名

議題 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移

2) 救急車受入状況

3) 病診連携(受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等)

III 「意外と身近な血液疾患～多発性骨髄腫・悪性リンパ腫～」

第65回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会

日時 2022年11月18日(金) 中京病院大会議室 出席者22名/委員26名

議題 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移

2) 病診連携(受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等)

III 「骨粗鬆症予防啓発 活動報告～あなたの骨は「密」ですか?イベント報告～」

第66回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会

日時 2023年2月17日(金) 中京病院大会議室およびオンライン 出席者19名/委員26名

議題 I 地域医療連携に関するデータ報告

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移

2) 病診連携(受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等)

II 「中京病院の災害医療構想」

III 「令和4年救急統計について」名古屋市南消防署の報告

議事録 別紙参照

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。



患者相談の実績

患者相談を行った場所	地域医療連携・相談室 その他（病棟）		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
	社会福祉士	ケースワーカー	係長
	社会福祉士	社会福祉士	
	社会福祉士	社会福祉士	
	看護師	看護師	長
	看護師	看護師	
	看護師	看護師	
	看護師	看護師	
	看護師	看護師	
	事務員	事務員	係長
事務員	事務員		
事務員	事務員	事務員	
患者相談件数	7,179 件		

患者相談の概要 別紙参照

1. 病院駐車場が移転し駐車場から外来までが遠くなったため、苦情や対応相談が増加した。

- ・ 新設された駐車場からの壁に誘導表示を実施
- ・ 障害者用駐車場を道路側から院内通路側へ場所の変更
- ・ 駐車場からの通路途中で休憩ができるように、椅子の設置
- ・ 駐車場でサポートできるスタッフを配置

2. 社会福祉士による相談における対応例

自立支援医療の活用、身体障害者手帳の申請、生活保護申請（新規）、高額療養費の活用等

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

## 居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

## 居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・退院支援共同カンファレンス等  
主治医、病棟看護師、退院調整担当者、ケアマネ、訪問医、訪問看護師、  
介護ケアマネジメント事業所、居宅事業所等が参加し、退院後の支援について検討。  
介護支援等連携指導 342件、退院時共同指導 133件
- ・退院前・退院後訪問・訪問看護師や訪問医との同行訪問など 43件行い、在宅療養支援につなげた。
- ・顔の見える連携として、延べ 992施設と連携。年3回以上の連携は 60施設であった。

## 医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

訪問看護指示書件数：延べ 999 件

居宅サービス計画に関する主治医連絡票等件数：770 件

介護支援サービス提供連絡票 7件

福祉用具貸与の例外給付 31件

## その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

医療連携を推進するために、開業医訪問を234施設行った。(在宅クリニック、老健施設を含む)  
コロナ禍の状況もあったため、訪問できない時は電話訪問に切り替えた。電話訪問47件行った。

インターネット予約システムを推進又は接続(再設定含む) 62施設

・老健施設・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等施設を対象とした連携会においてメインテーマ「耳からはじまる健康づくり」、演題1. 気にしていますか？耳のケア 演題2. 聴こえと認知症をWeb開催した。院外 16 施設 院内参加数 29 名 院外参加数 98 名 計 127 名の参加があった。近隣の37 施設へ呼びかけし、参加は、院外 6 施設 13 名 院内 6 名、計 19 名であった。事後アンケートでは、「今後の業務に役立つものか」・役に立つが 100%、感想には「わかりやすかった。」「ノイズキャンセリングのイヤホン高価ですが購入します。」「高価な補聴器を購入しても使用期間が短期で、合わないと諦めてしまう方が見えるため、補聴器の脳に慣らす期間を学習した。認知症予防に対する情報もあった。」などの意見をいただいた。今後のテーマとしての意見は、「認知症」「ストマ」「糖尿病を持つ高齢者の日常生活の知識や予防について(食事や運動、合併症への対応)」であった。

・症例検討会を通じて地域医療連携の発展を考え、第86回中京病院病診連携症例検討会をWeb開催した。「がん早期発見研修会」「がん末期 安心できる在宅療養とは何か?～本人家族の意向に沿った支援・連携を通じて～」70歳代 GIST(消化管間質腫瘍)患者さんの事例を院外 17施設・参加数 22名 院内参加数 15名 院外参加数 22名 計 37名の参加があり、5グループに分かれ検討した。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域医療連携・相談室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		医 師	地域医療連携相談室 室長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本病院機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	認定期間 2019年6月21日 ～ 2024年6月20日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績
令和4年度退院調整件数： 3、686 件
自宅退院：1,916件、転院：1,056件、施設入所：425件、その他：289件

4 地域連携を促進するための取組みの実績

別紙参照

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

大腿骨頸部骨折・脳卒中

地域連携会や回復期・維持期を含めた小勉強会の開催を対面で予定していたが、コロナ禍であったため、感染拡大防止を講じリモート運営を企画し定期開催した。

がんパス（5大がん・前立腺がん）の運用を継続。

新規開拓 14施設 電話でのサポート 18施設にがんパスの説明及び広報を行った。

がん診療拠点病院の地域連携パス部会の取りまとめ役として運用に貢献した。

がん診療拠点病院のコーディネーター研修会をWeb開催で企画し運用した。

地域がん診療連携拠点病院指定更新（令和5年4月から令和9年3月の4年間）

## 5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

### 情報発信の方法

登録医への情報発信（郵送） 中京病院ニュース：年4回発刊 登録医への郵送

ホームページ、フェイスブック、院内掲示、電光掲示板による広報、各種情報印刷物の配布  
医療連携のご案内の冊子の発行

### 内容等の概要

ホームページ：病院概要、診療担当、各診療科、部門等の紹介、受診方法等

中京病院ニュース：診療科や部門におけるトピックスの紹介、病気についての予防ポイント、  
地域医療連携・相談室便り、中京病院の主張、各科診療担当表等

フェイスブック：直近の院内でのトピックス紹介

医療連携のご案内：トピックス、各診療科の紹介、地域医療連携の紹介、アクセス等

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。